

概要

情報分類に色を利用する分類ルールを紹介します。

説明

赤・青・黄・緑の4色は「心理四原色」と言い、物品の色分けなどによく使われます。各種製品のカラーバリエーションでも、この4色を基本としているものがよくあります。書類フォルダ、ボックスファイル、バインダー、仕切り版、封筒、シールなど、ファイリングや情報分類に使用する製品についても、この4色で製品を揃えることは容易です。

そこで、この4色を利用して情報を色分けするルールを定めると、いろいろな製品を利用してすることが出来ます。

システム・ダイアリーのメモ用リフィル等も四色分類に利用することができます。

分類ルール 1 / システム・ダイアリーの分類

システム・ダイアリーでは、製品としてカラーコンディションのコンセプトを導入しており、色に以下のような意味合いを持たせています。

赤	重要
青	研究
黄	連絡
緑	記録
その他	グレーはメモ

分類ルール 2 / 鷺ノ宮式分類

以下の例は、本サイトで提案する四色分類方法の案です。

■四色の意味

赤	汎用 (Material)
青	趣味 (Hobby)
黄	研究 (Study)
緑	生活 (Life)
その他	グレーなどは分類外の雑として扱う。

■情報整理の経路

1. とりあえずは、すべて赤に分類します。
2. 情報収集の度合いが高まった場合は、青、黄のいずれかに分類します。
3. 青、黄のどちらに分類するかは、そのテーマへの取り組み方によります。
4. 会社、学校など、生活の中心となる行いに関する情報は緑に分類します。

■副分類と記号化

- ・ 上記四色分類を大分類とし、中、小分類の三段階分類とする。
- ・ 各分類名の記号（アルファベット数文字）を取り、記号化する。

■副分類と記号化（例）

- ・ H・Od・Cp（Hobby、Outdoor、Camp）
- ・ S・C・J（Study、Computer、Java）
- ・ L・Pj・X（Life、Project、X Company）